

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第26週の発生動向

全数報告の感染症 (26週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例。
4類感染症：レジオネラ症 1例。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	無症状病原体保有者	—
		延岡	90歳代	男	肺結核	症状なし
		日南	90歳代	男	疑似症患者	発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	0~4歳	男	—	水様性下痢、血便 O157(VT1,2産生)
4類	レジオネラ症	日向	60歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、嘔吐、菌血症

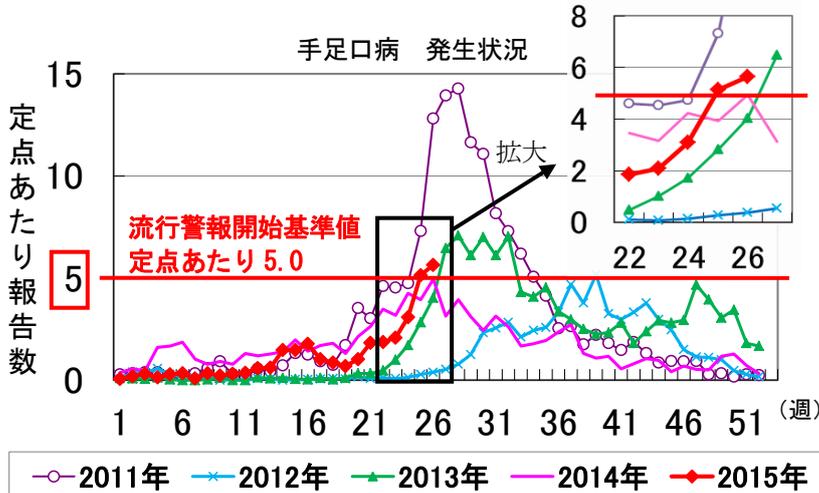
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は929人(定点当たり27.4)で、前週比95%とやや減少した。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎であった。

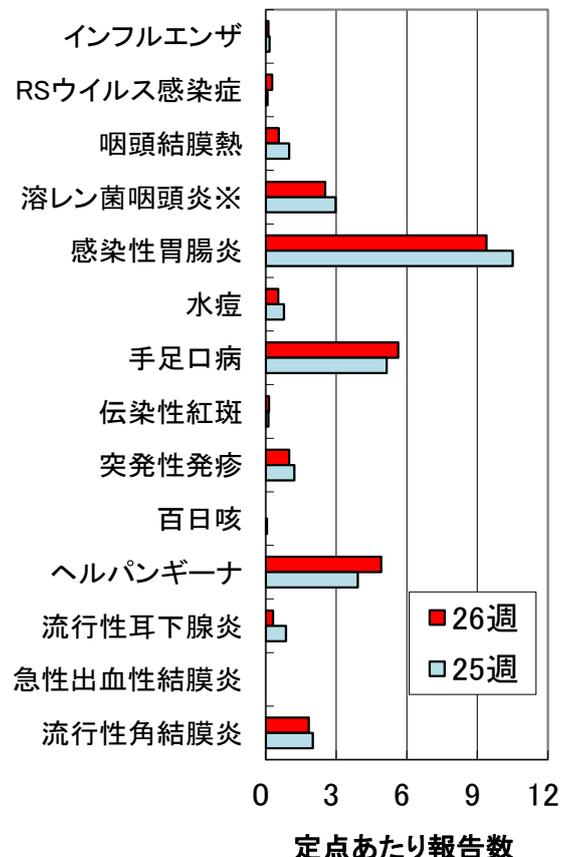
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【手足口病】

・報告数は203人(5.6)で、前週比110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.2)の約1.1倍であった。中央(15.0)、日南(9.7)、延岡(7.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の約6割を占めた。

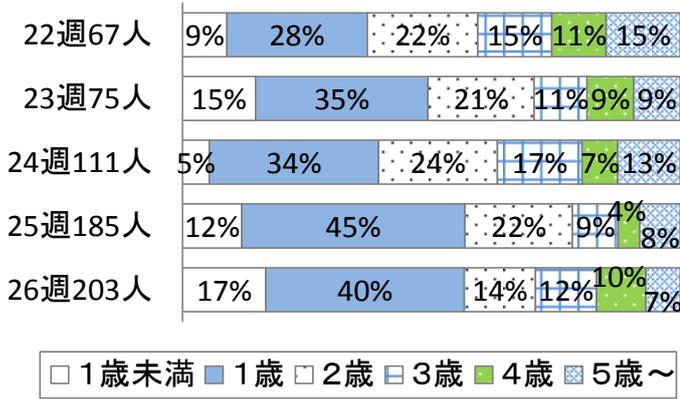


《前週との比較》

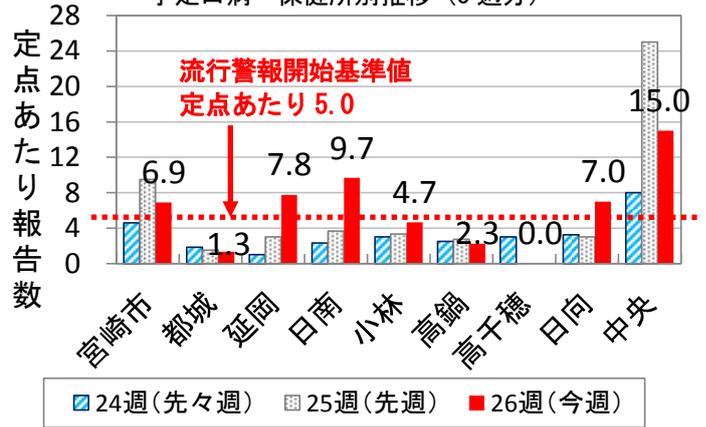


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

手足口病 年齢群別割合の推移 (5週分)



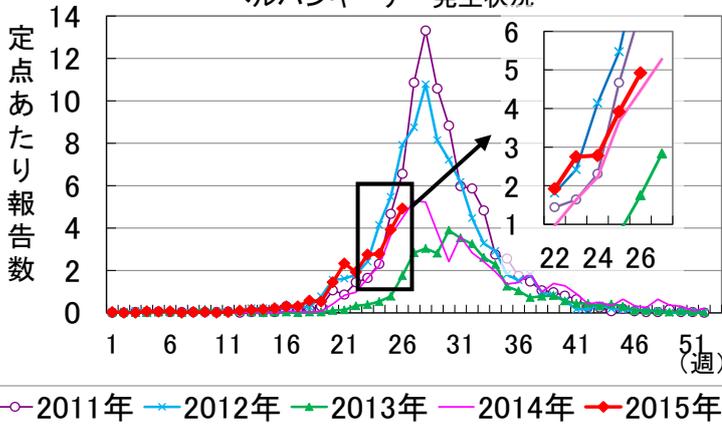
手足口病 保健所別推移 (3週分)



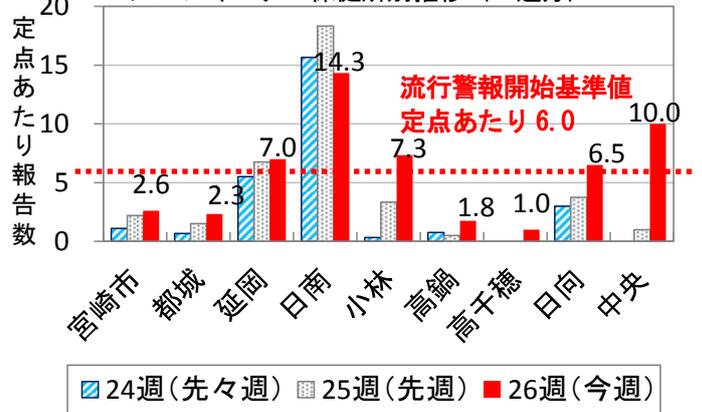
【ヘルパンギーナ】

・報告数は177人(4.9)で、前週比126%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(5.2)と同程度であった。日南(14.3)、中央(10.0)、小林(7.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移 (3週分)



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(6.9)
都城	なし
延岡	手足口病(7.8)、ヘルパンギーナ(7.0)
日南	感染性胃腸炎(20.7)、手足口病(9.7)、ヘルパンギーナ(14.3)
小林	ヘルパンギーナ(7.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(7.0)、ヘルパンギーナ(6.5)
中央	手足口病(15.0)、ヘルパンギーナ(10.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

□ 病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成27年6月29日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	男	2015.6.5	上気道炎(咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)、二週間咳持続	咽頭ぬぐい液	2015.6.18
EPEC(O18:H45)	20歳代	男	2015.6.11	細菌性腸炎、発熱(37.0℃)、胃腸炎(下痢、腹痛)	便	2015.6.24
EPEC(O157:H7)	30歳代	女	2015.6.16	無症状	便	2015.6.26
EHEC(O157:H7)	0~4歳	男	2015.6.22	腸炎(下痢、血便)	便	2015.6.26

腹痛、血便などを呈した0～4歳の男児から腸管出血性大腸菌 O157 が分離された。当所に依頼された腸管出血性大腸菌 O157 による事例は、2010 年には 9 件発生したが、2014 年には 2 件しか発生しておらず減少傾向にある。腸管出血性大腸菌感染症には多くの血清型があるため、O157 以外の血清型における腸管出血性大腸菌にも注意する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	検出日
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	男	2015.5.12	エンテロウイルス疑い、37.7℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2015.6.19
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	女	2015.5.13	エンテロウイルス疑い、37.7℃、発疹、結膜炎	咽頭ぬぐい液	2015.6.19
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	女	2015.5.14	ウイルス性発疹	咽頭ぬぐい液	2015.6.19
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	女	2015.5.16	ウイルス性発疹、37.6℃、上気道炎、胃腸炎	咽頭ぬぐい液	2015.6.19
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	男	2015.5.18	エンテロウイルス疑い、38.7℃	咽頭ぬぐい液	2015.6.19
ライノウイルス	0～4歳	男	2015.6.5	気管支炎、下気道炎、上気道炎、37.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.6.16
ライノウイルス	0～4歳	女	2015.6.11	喘息様気管支炎、下気道炎、咳嗽、39.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.6.16
パラインフルエンザウイルス3型	0～4歳	男	2015.6.16	無呼吸発作、気管支炎、上気道炎、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.6.26

○エンテロウイルス疑いの幼児3名とウイルス性発疹を呈した幼児2名からコクサッキーウイルス A9 が分離された。全国のエンテロウイルス検出状況を見ると、コクサッキーウイルス A16 型が最も多く、次いでコクサッキーウイルス A6 型、コクサッキーウイルス A10 型が検出されており、いずれも手足口病の原因ウイルスである。手足口病は夏にかけて流行し始めるが、今年は全国的に例年より早く患者が増え始めている。当所でも6月に入り、手足口病疑い検体が増えており、原因ウイルスが確定した場合は検出速報として随時同定ウイルスを掲載していく予定である。

○気管支炎を呈した乳幼児2名からライノウイルスが検出された。

○無呼吸発作を呈した乳児からパラインフルエンザ3型が検出された。

🇯🇵 全国第 25 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 25 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	378 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	93 例	パラチフス	2 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	4 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	7 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	36 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	19 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例	水痘（入院例）	1 例	梅毒	36 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	5 例
	麻しん	2 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99% とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

手足口病の報告数は 11,018 人(3.5)で前週比 131% と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (2.1) の約 1.7 倍と多い。徳島県(16.1)、香川県(9.6)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 3,476 人(1.1)で前週比 162% と増加した。三重県(5.9)、愛媛県(4.8)、福岡県(4.6)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第26週(6月22日～6月28日)

疾病名		第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	10	7	5	1		1					
	定点あたり	0.17	0.12	0.31	0.10	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	3	10	1	1	1		2			5	
	定点あたり	0.08	0.28	0.10	0.17	0.25	0.00	0.67	0.00	0.00	1.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	36	20	3	2	4	5				6	
	定点あたり	1.00	0.56	0.30	0.33	1.00	1.67	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	107	91	22	9	20	11	2	12		10	5
	定点あたり	2.97	2.53	2.20	1.50	5.00	3.67	0.67	3.00	0.00	2.50	5.00
感染性胃腸炎	報告数	378	338	63	63	17	62	56	35	12	25	5
	定点あたり	10.50	9.39	6.30	10.50	4.25	20.67	18.67	8.75	12.00	6.25	5.00
水痘	報告数	28	19	9		6			2		1	1
	定点あたり	0.78	0.53	0.90	0.00	1.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	185	203	69	8	31	29	14	9		28	15
	定点あたり	5.14	5.64	6.90	1.33	7.75	9.67	4.67	2.25	0.00	7.00	15.00
伝染性紅斑	報告数	4	5	1			2				2	
	定点あたり	0.11	0.14	0.10	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	44	36	16	3	5	1	2	3		5	1
	定点あたり	1.22	1.00	1.60	0.50	1.25	0.33	0.67	0.75	0.00	1.25	1.00
百日咳	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	141	177	26	14	28	43	22	7	1	26	10
	定点あたり	3.92	4.92	2.60	2.33	7.00	14.33	7.33	1.75	1.00	6.50	10.00
流行性耳下腺炎	報告数	31	11	1	3	2		2	2		1	
	定点あたり	0.86	0.31	0.10	0.50	0.50	0.00	0.67	0.50	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	11	9	2							
	定点あたり	2.00	1.83	3.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～26週)

2類感染症	結核	104例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(1)				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	4例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	5例	マラリア	1例	レジオネラ症	2例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例	急性脳炎	2例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	8例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例(1)	水痘(入院例)	1例
	梅毒	3例	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	5例

()内は今週届出分、再掲